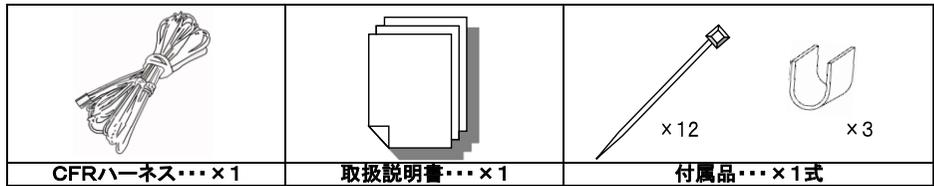


sicle 808CFR

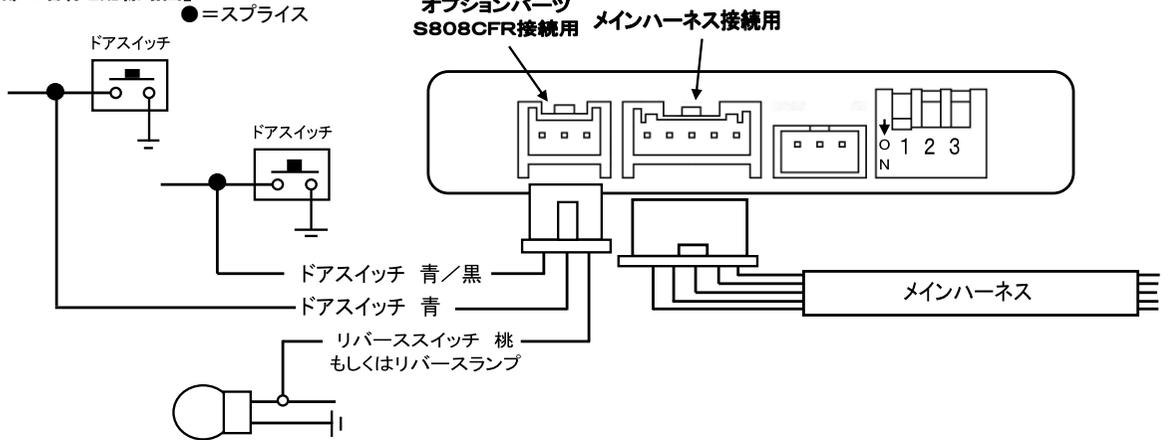
EURO WINKER / QUICK HAZARD SYSTEM ADAPTER

この度は弊社製品<シエクル808(ハチマルハチ)CFR>をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

【パーツ構成】



【各部の名称と配線略図】

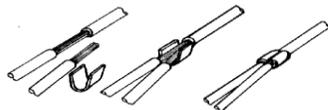


【配線・接続方法】

- 1) リバースハザード機能
- 2) ドアハザード機能

- ① 桃線をリバース信号に、付属のスプライスを使って接続します。【スプライスの使用方法】を参照) リバース信号はリバースギアを入れたときに12vが発生する配線です。(ナビゲーション等がありますが確実なのはリバースランプからになります)
- ② 配線はタイラップを使って駆動部品に触れぬようにまとめて下さい。
- ③ ① 青/黒線、青線をドアハザードが必要なドアカーテンの線に、付属のスプライスを使って接続します。【スプライスの使用方法】を参照)
 - ドアスイッチの信号が助手席側と後部座席が一緒になっている車両もあります
- ② 配線はタイラップを使って駆動部品に触れぬようにまとめて下さい。

【スプライスの使用方法】



- * 配線の適当な場所の被服を5mm程度むきます。
- * S808CFRの配線の先を10mm程度被服をむき、車両配線へ巻きつけます。
- * スプライスを接合部にあて、圧着ペンチでかします。
- * ビニールテープにて接合部を絶縁します。

【作動確認】

- 1) リバースハザード機能が作動しない
- 2) ドアハザード機能が作動しない

- ① ディップスイッチ2, 3をOFF(上)の設定を確認してから行って下さい。
- ② エンジンを始動させて下さい。(イグニッションキーがONでないとリバースが作動しません)
- ③ リバースギアに入れたときにハザードランプが点滅するか確認します
 - 誤作動防止の為にリバースギアに入れてからハザードが作動するまでに約2秒かかります。(作動中はメーターパネルのハザードランプの点滅で確認できます。)
- ① 接続したドアを開けた時にハザードランプが点滅するか確認します。(作動中はメーターパネルのハザードランプの点滅で確認できます。)

【トラブルシューティング】

- 1) リバースハザード機能が作動しない
- 2) ドアハザード機能が作動しない

- ◎ リバースギアに合わせてもハザードランプが点滅しない
- ディップスイッチの2, 3がONになっていないか確認してください。
- 桃線がリバース信号に確実に接続されていないか、位置や接触不良等を確認してください。
- リバースランプから接続している場合はプラス(+)線に接続されているかを確認してください。
- ◎ ドアを開けてもハザードランプが点滅しない
- ディップスイッチの2, 3がONになっていないか確認してください。
- 青/黒線(青線)がドアカーテン線に接続されているか接触不良等を確認してください。

【主な機能】

リバースギアの信号線、もしくはリバースランプの信号線に接続することでリバース時に自動でハザードランプが点滅して周囲に注意を促します。
ドアスイッチ線に接続することでドアのオープン時に自動でハザードランプが点滅して周囲に注意を促します
● 両機能は1つの製品で可能です。接続の仕方により選択することも可能です。

【車検について】

当製品は安全を考慮して開発された製品ですがリバースハザード及びドアハザードについては車検等での確認はとれておりません。その為に車検時にはディップスイッチの2をONにし機能を解除することをお勧めします